鹿屋市放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について

子育て支援課

1　国の動向

2　鹿屋市の現状

3　放課後児童クラブのニーズ調査結果

4　今後の課題

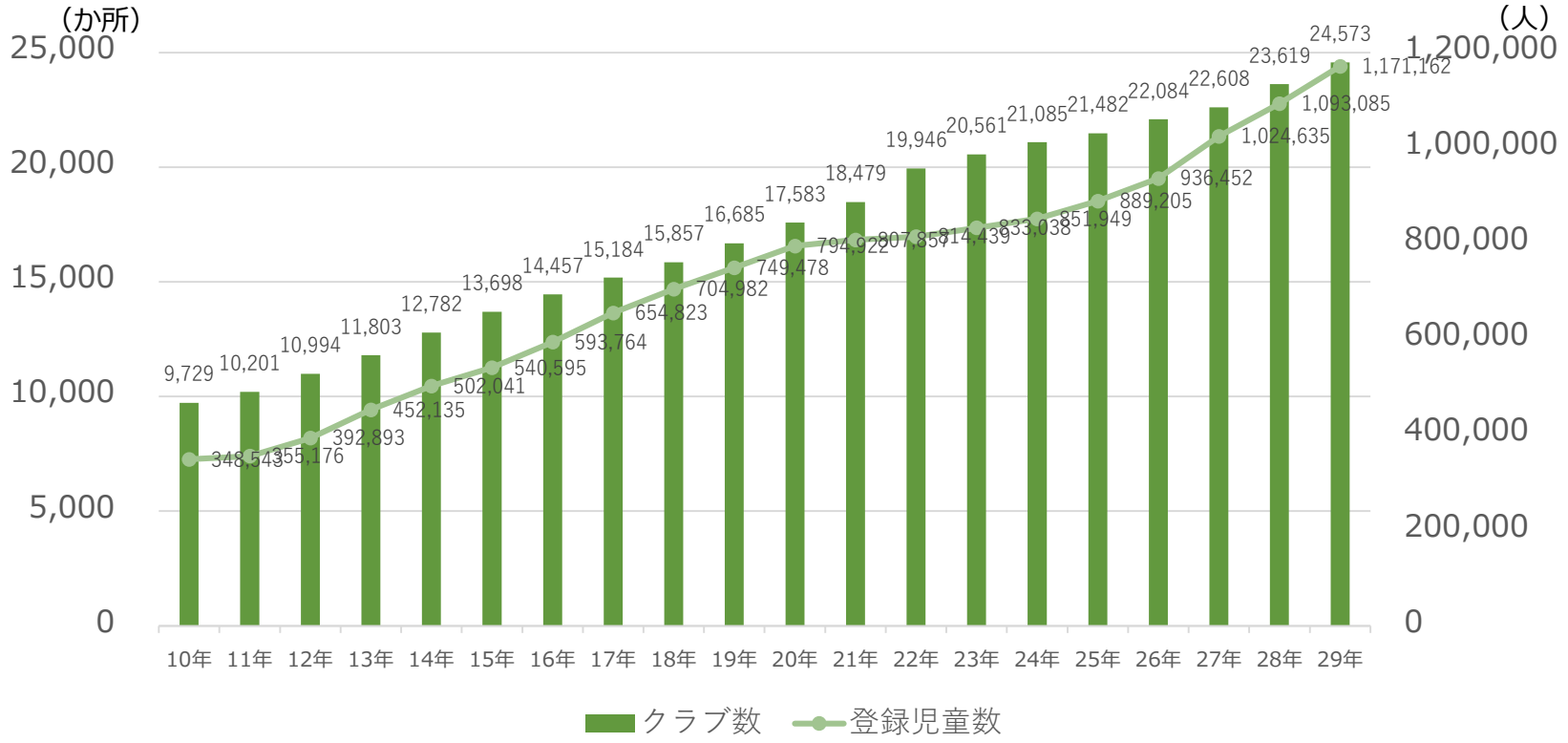
全国の放課後児童クラブの現状

平成29年５月１日時点で

○　**クラブ数**　　**24,573**か所【前年比 954 か所増】

○　**登録児童数**　　**1,171,162**人【前年比78,077 人増】

«登録児童数とクラブ数の推移»



「放課後子ども総合プラン推進事業」

	放課後子供教室（文部科学省）	放課後児童クラブ（厚生労働省）
趣旨	すべての子供を対象として、安全・安心な子供の活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する取組を推進する。	共働き家庭など留守家庭の小学校に通学する児童に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図る。（児童福祉法第６条３第２項に規定）
実施か所数	１０，３７６か所（平成25年度）	２１，４８２か所（平成25年５月）
実施場所	小学校　71.3% 公民館　13.2% 児童館　3.4% その他（中学校、特別支援学校など）　12.1% （平成25年度）	小学校（余裕教室）　28.1% 〃　（専用施設）　24.1% 児童館　12.8% その他（専用施設、既存公的施設など）　35.0% （平成25年５月）
開設日数	111日（平成25年度平均）	原則として長期休暇を含む年間250日以上
指導者	地域の協力者	放課後児童支援員(専任)

原則として全ての小学校での実施を目指す

国全体の目標

○2019年（平成31）年度末までに

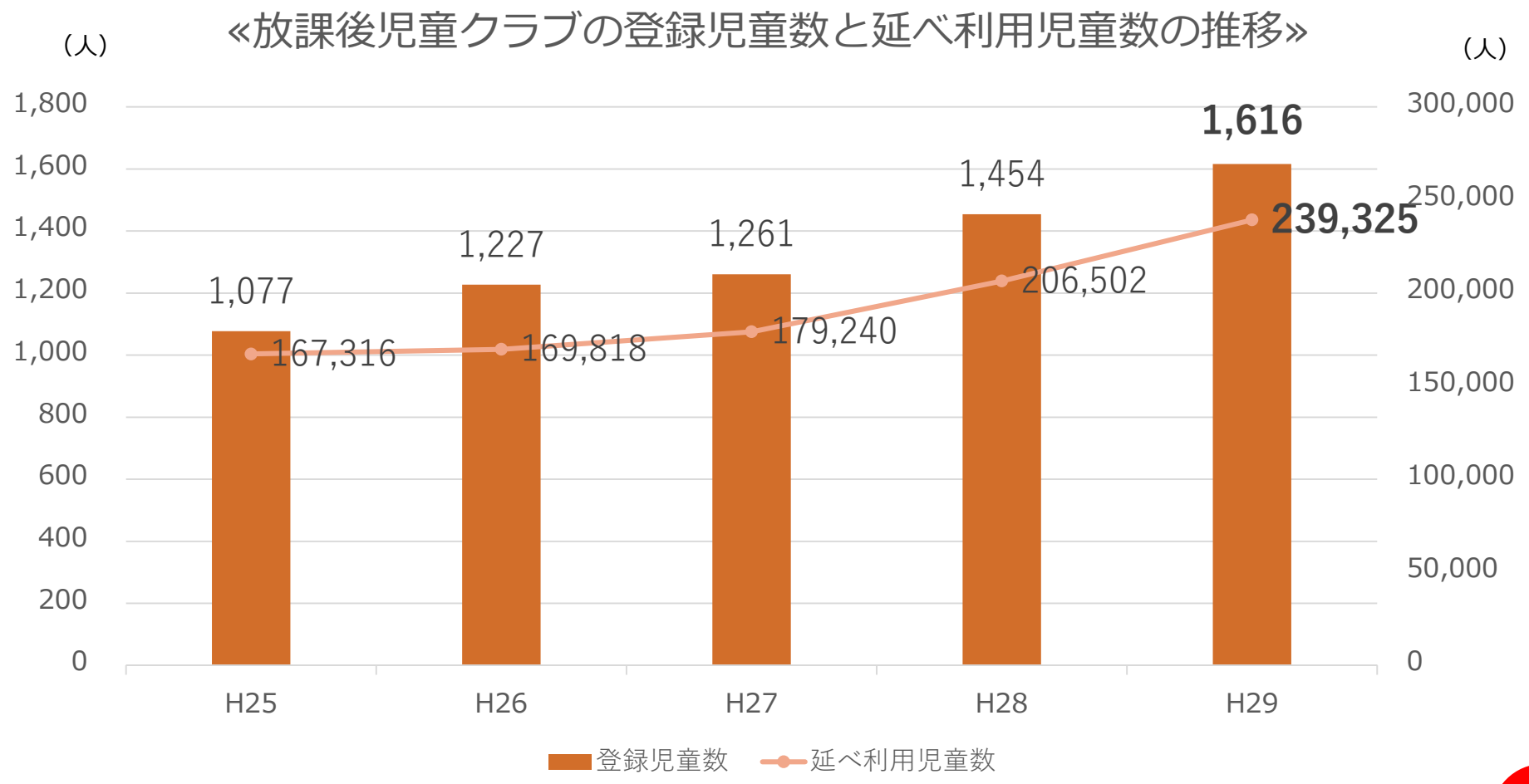
・**放課後児童クラブ**について、**約30万人分を新たに整備**
（約90万人→約120万人）

・**全小学校区（約２万か所）**で放課後児童クラブと放課後子供教室を**一体的にまたは連携**して実施し、うち**１万か所以上**を一体型で実施

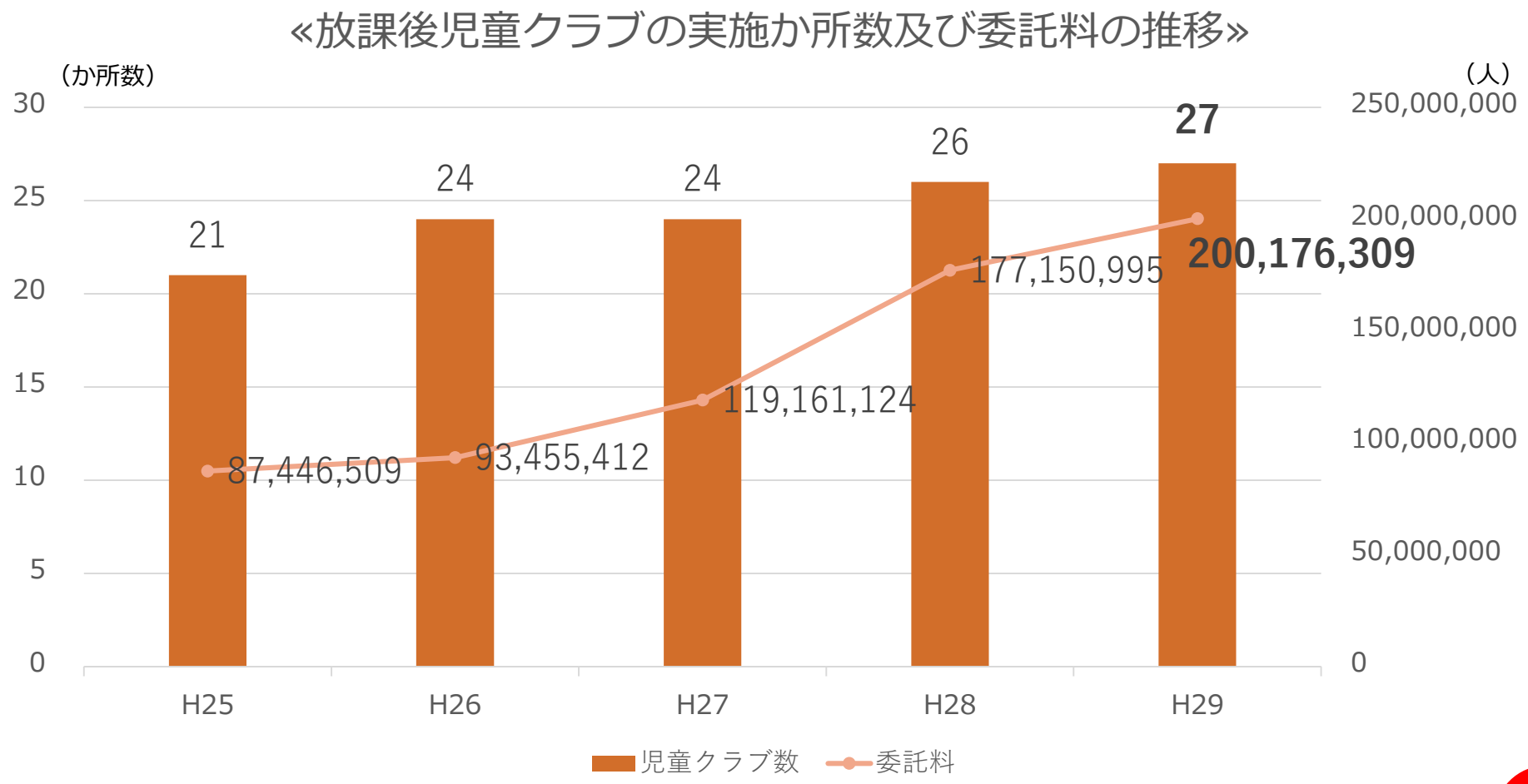
○新たに開設する放課後児童クラブの約80%を小学校内で実施することを目指す

※小学校外の既存の放課後児童クラブについても、ニーズに応じ、余裕教室等を活用

放課後児童クラブの利用児童数



放課後児童クラブの実施か所数及び委託料

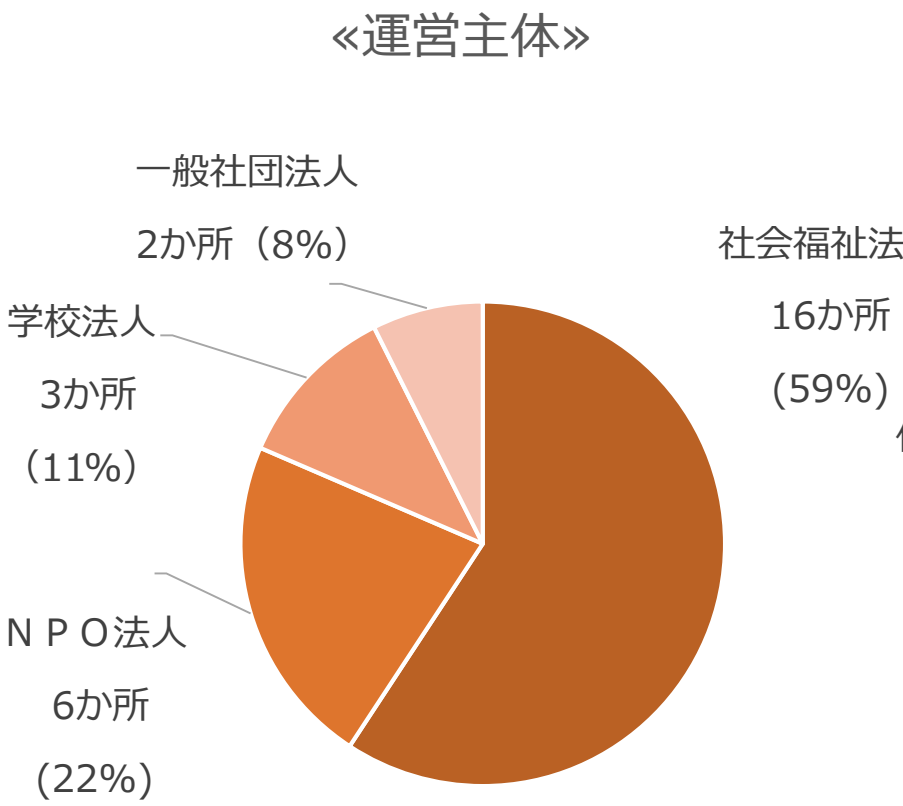


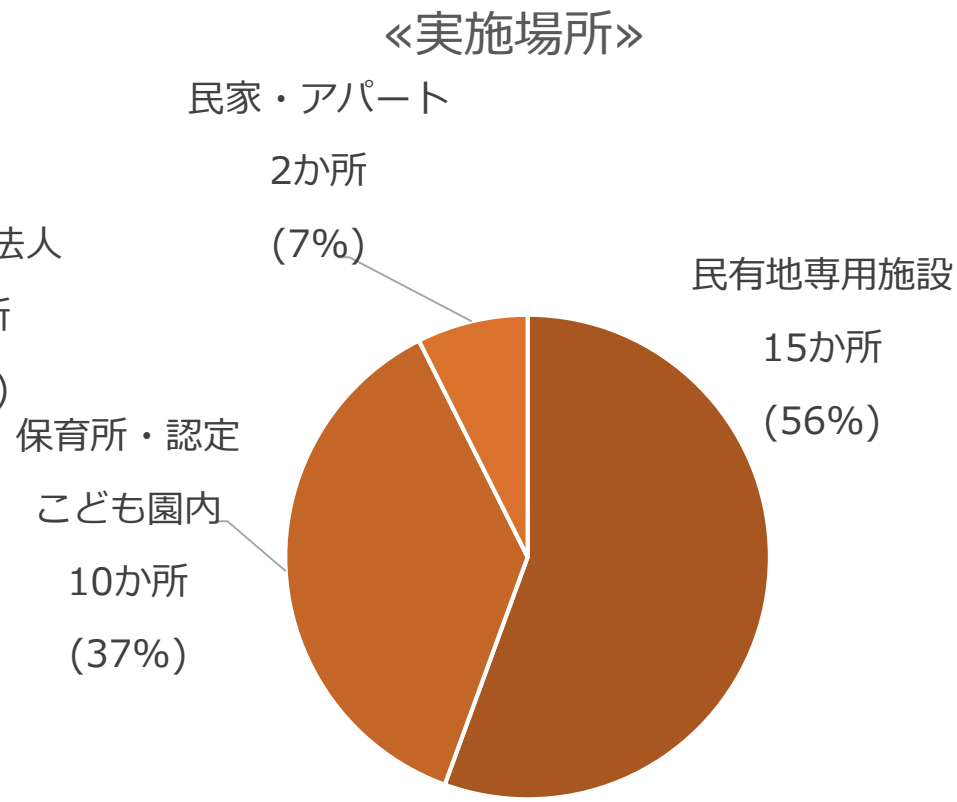
各小学校区にある放課後児童クラブ

小学校区	児童クラブ名	
鹿屋	鹿屋学童育成クラブ	第２鹿屋学童育成クラブ
祓川	はらい川児童クラブ	
笠之原	笠之原児童育成クラブ	ひなぎく保育園児童育成クラブ
寿	寿学童育成クラブ	第２寿学童育成クラブ
	寿敬心学童育成クラブ	
寿北	エンゼル児童クラブ	ことぶき北学童育成クラブ
	わかば児童クラブ	
田崎	第１こばと児童クラブ	第２こばと児童クラブ
西原	二葉児童クラブ	第２二葉児童クラブ
	にしはら学童育成クラブ	第２にしはら学童育成クラブ

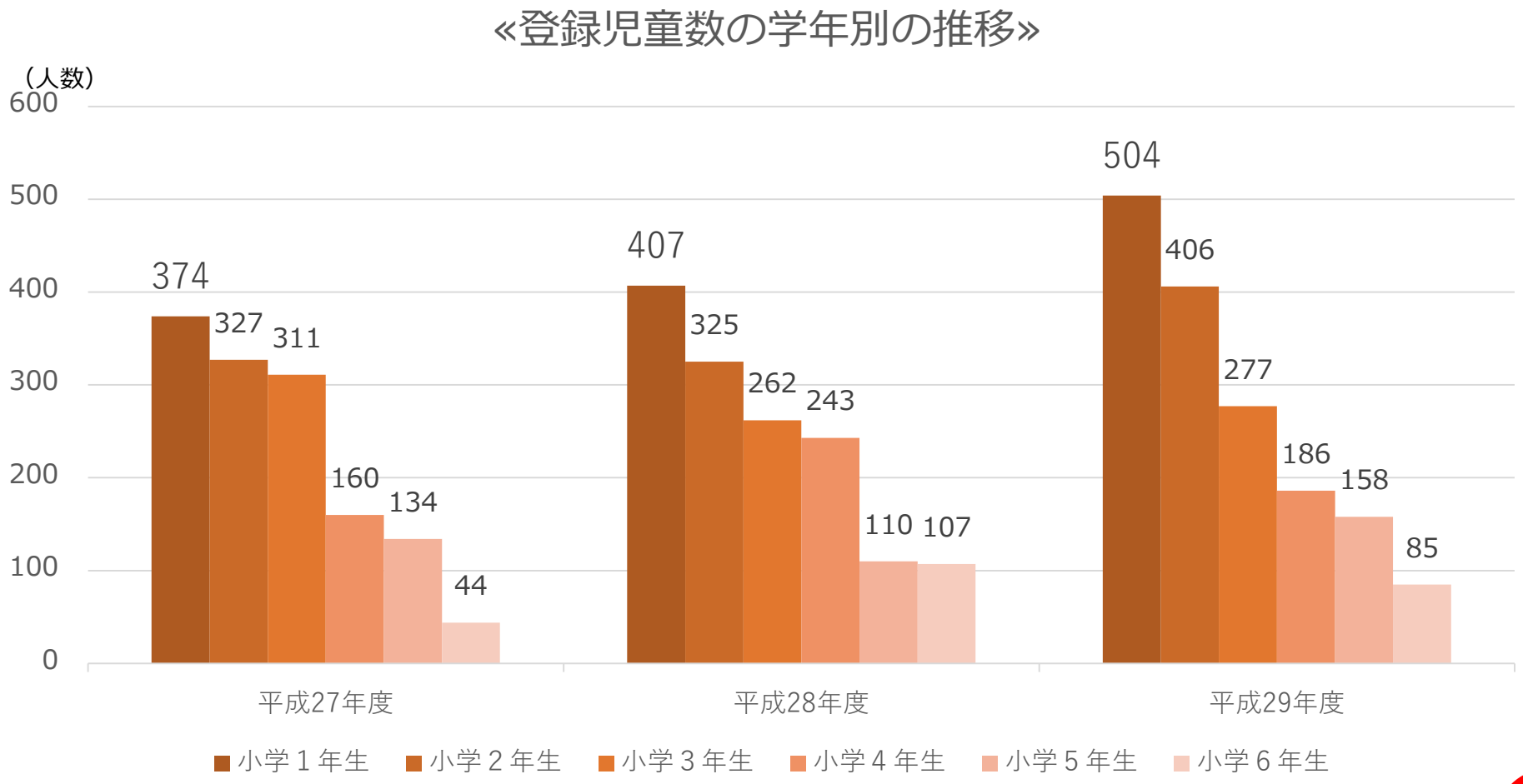
小学校区	児童クラブ名	
西原台	西原台学童育成クラブ	第２西原台学童育成クラブ
花岡	花岡児童育成クラブ	
野里	野里学童育成クラブ	
大姶良	南部幼稚園学童育成クラブ	和光キッズクラブ
輝北	光明児童クラブ	
串良	正徳仲良しクラブ	
細山田	細山田こども園わんぱく児童クラブ	
上小原	上小原児童クラブ	
吾平	吾平児童クラブ	
鶴峰	いずみ幼稚園学童クラブ	

放課後児童クラブの運営主体及び実施場所





放課後児童クラブの学年別登録児童数



3　放課後児童クラブのニーズ調査結果

目的

本市は、子ども・子育て支援法に基づき、平成27年３月に「鹿屋市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、各事業を推進しているが、その事業の一つである「放課後児童健全育成事業」において、放課後児童クラブの一層の充実に向け、現状及び今後の利用のあり方の正確な把握が必要となるため、小学校に通っている児童（全学年）の保護者全員を対象に小学校を通じてアンケート調査を実施した。

調査対象

鹿屋市内の小学校に通う児童（全学年）の保護者全員

調査対象者数

6,458人（平成29年５月１日時点）

3　放課後児童クラブのニーズ調査結果

子育て支援課

調査期間

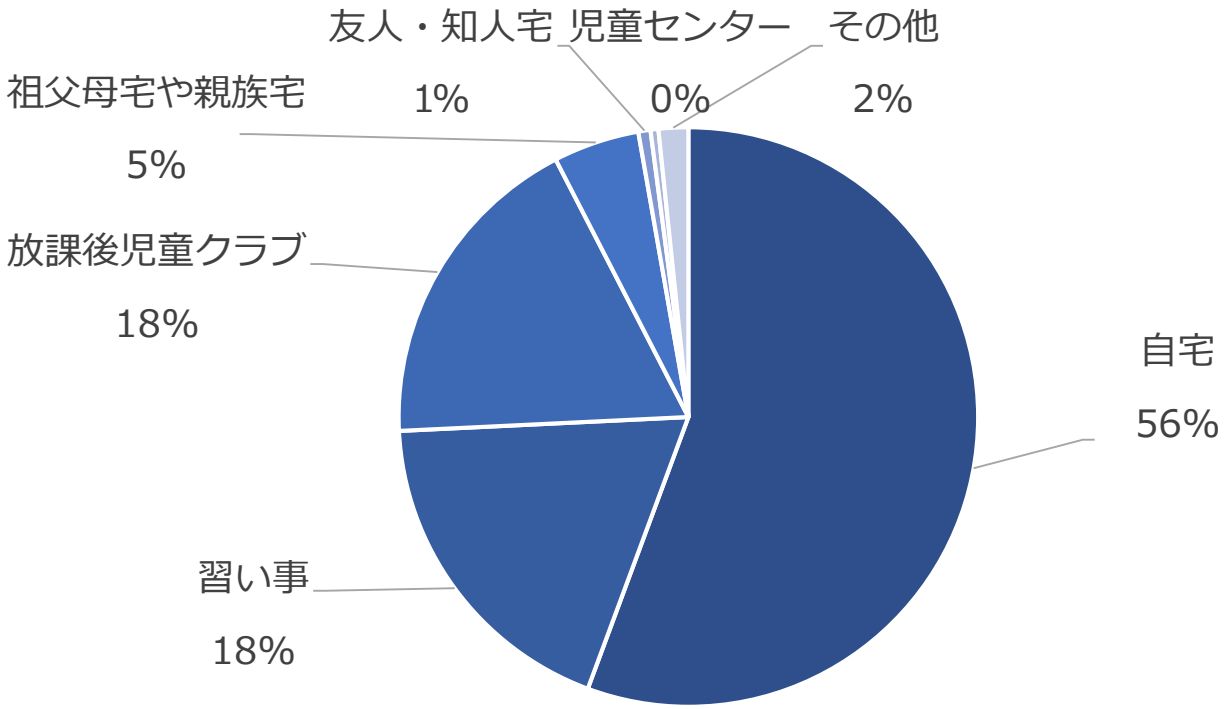
平成29年９月19日（火）～平成29年９月29日（金）（11日間）

回収状況

	調査票配布数	回収数	回収率
全体	6,458人	4,247人	65.8%
１年生	1,075人	802人	74.6%
２年生	1,103人	771人	69.9%
３年生	1,039人	670人	64.5%
４年生	1,107人	702人	63.4%
５年生	1,080人	665人	61.6%
６年生	1,054人	637人	60.4%

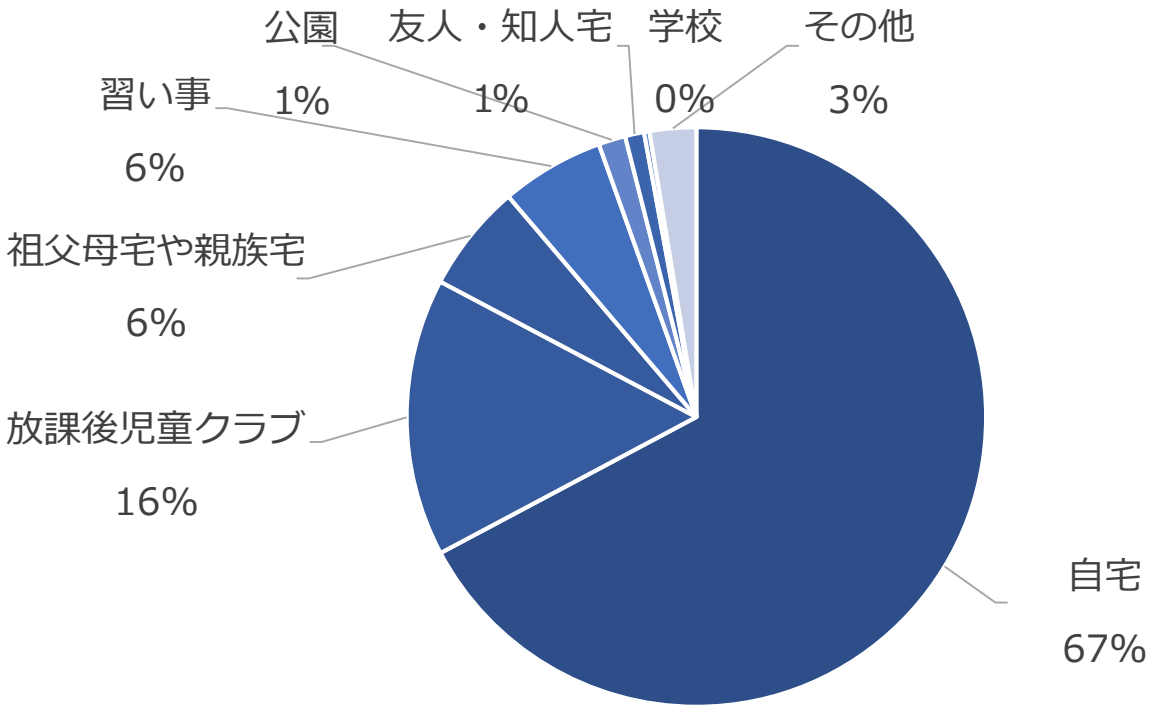
平日の放課後の過ごし方

「平日の放課後（授業終了後）を過ごす場所」の内訳は、「自宅」を選択した児童が11,816人（約56%）で最も多く、次に「習い事」を選択した児童が3,948人（約18%）、その次に「放課後児童クラブ」を選択した児童が3,863人（約18%）であった。（ｎ＝21,235人）



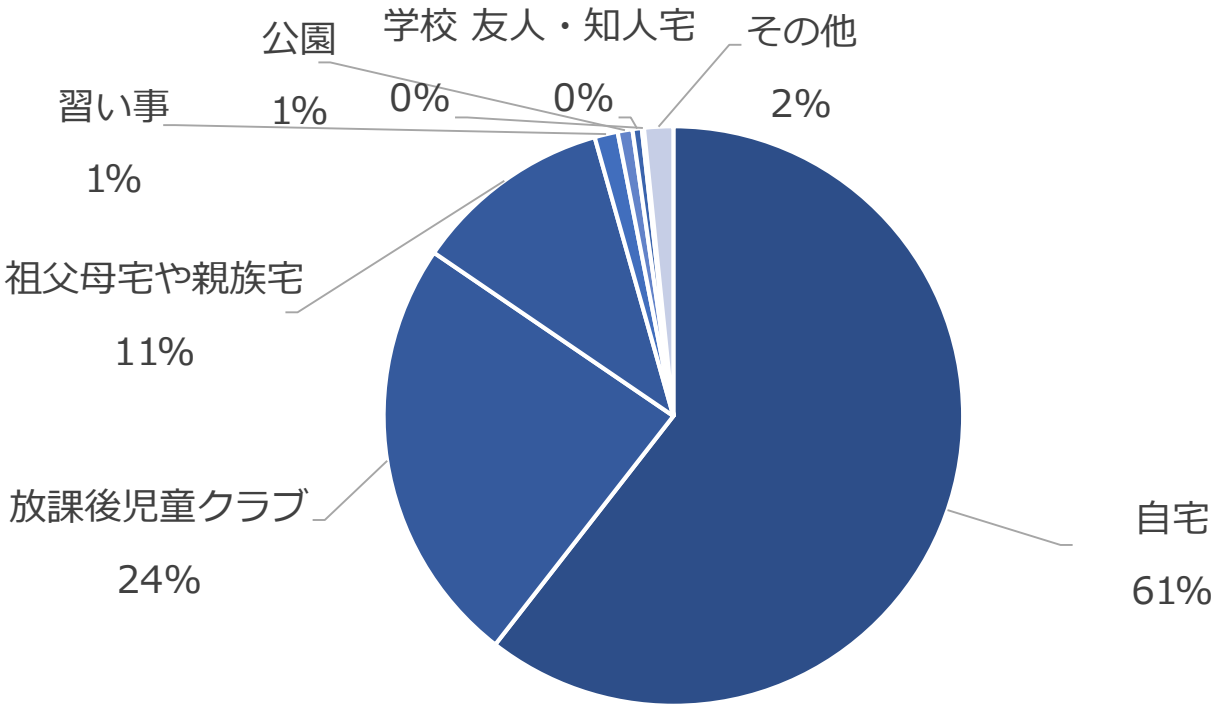
土曜日の過ごし方

「土曜日の過ごす場所」の内訳は、「自分の家」を選択した児童が2,855人（約67%）で最も多く、次に「放課後児童クラブ」を選択した児童が659人（約16%）、その次に「祖父母や親族の家」を選択した児童が256人（約６%）であった。（ｎ＝4,247人）



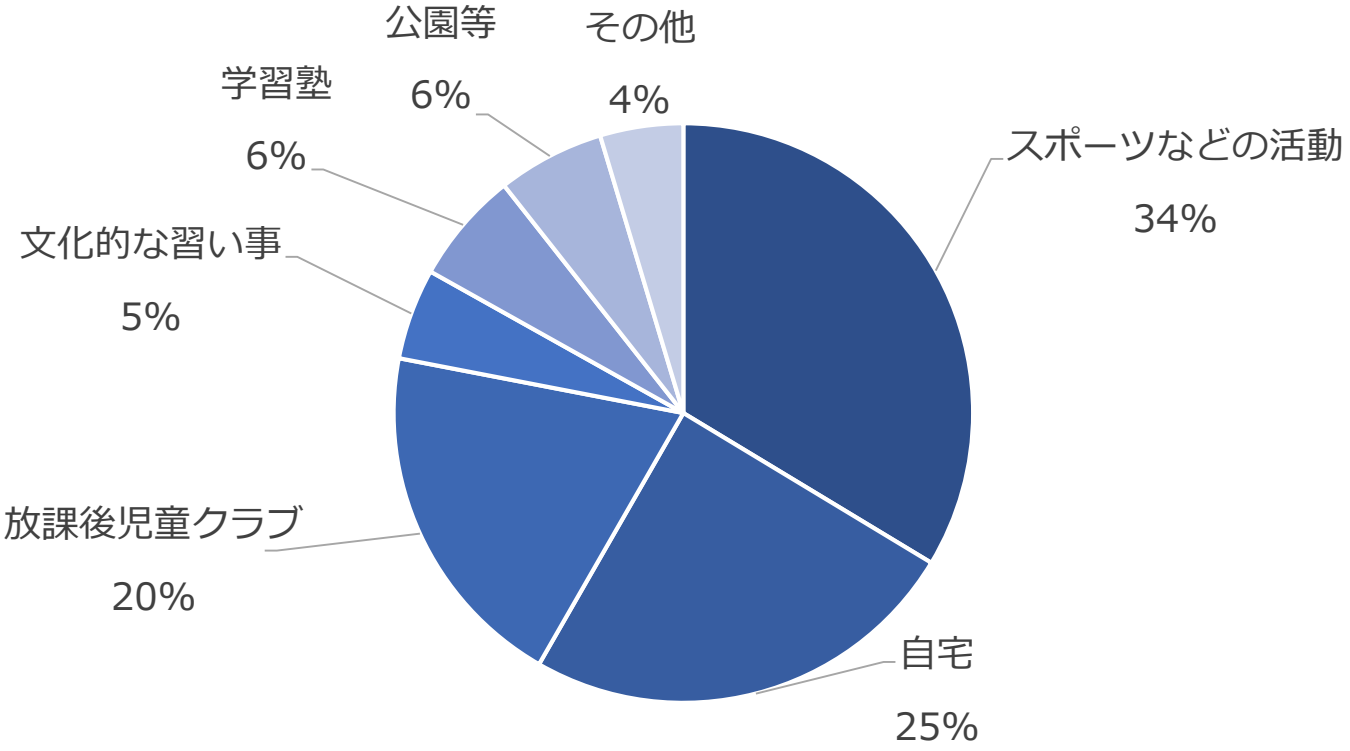
長期休暇等の過ごし方

「長期休暇等（夏休み、冬休み、春休み等）の過ごす場所」の内訳は、「自分の家」を選択した児童が2,571人（約61%）で最も多く、次に「放課後児童クラブ」を選択した児童が1,019人（約24%）、その次に「祖父母や親族の家」を選択した児童が471人（約11%）であった。
（ｎ＝4,247人）



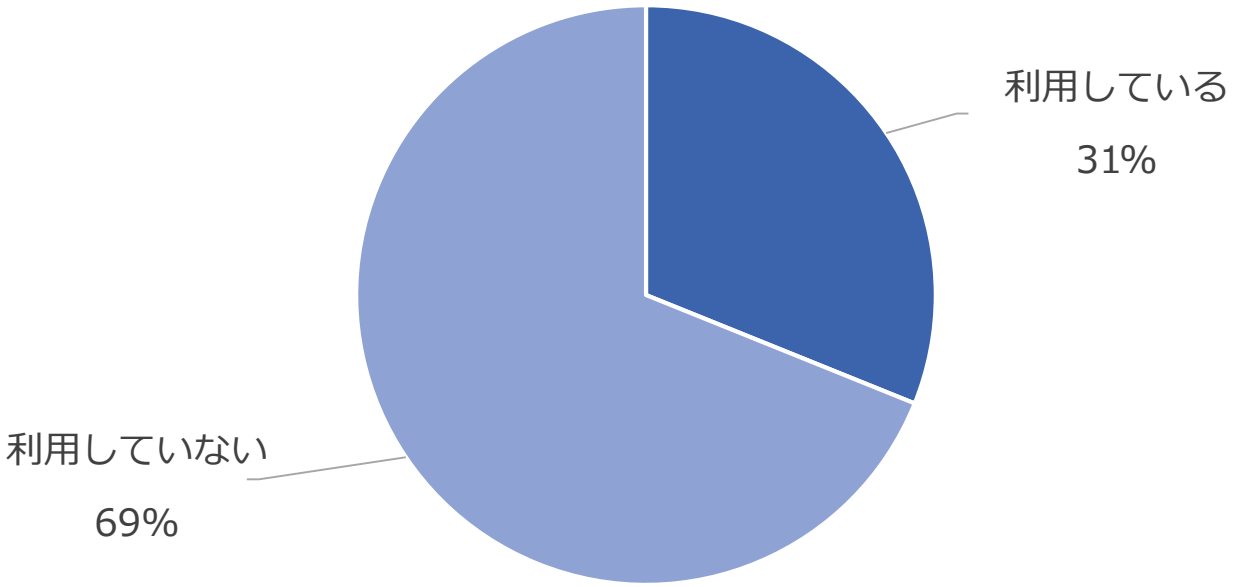
今後の放課後の過ごし方

「今後の放課後の過ごし方」を回答した児童の内訳は、「スポーツ少年団などの活動をさせたい」を選択した児童が1,429人（約34%）で最も多く、次に「家で自由に過ごさせたい」を選択した児童が1,047人（約25%）、その次に「放課後児童クラブ（学童保育）を利用させたい」を選択した児童が838人（約20%）であった。（ｎ＝4,247人）



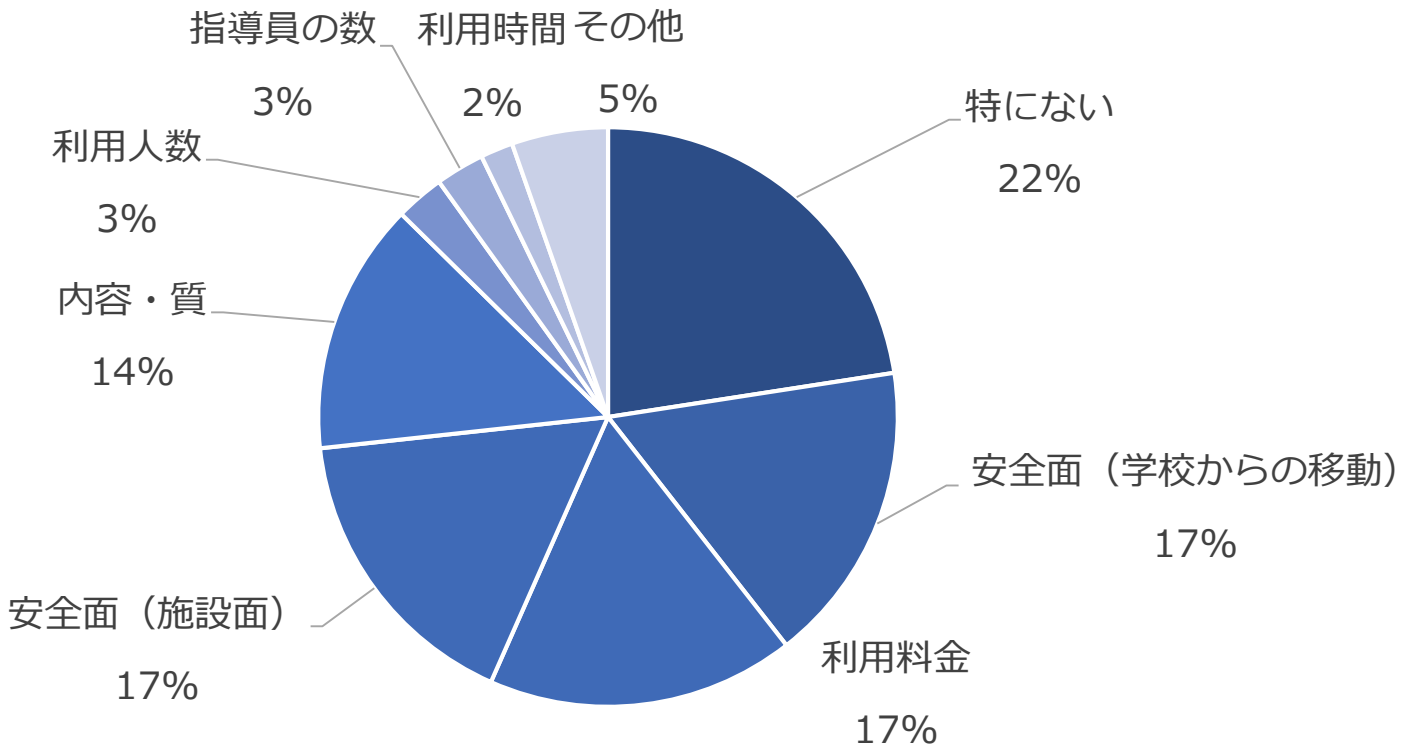
放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況

「放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況」の内訳は、平日・土曜日・長期休暇等の内、１日でも「利用している」を選択した児童が1,321人（約31%）で、「利用していない」を選択した児童が2,926人（約69%）であった。（ｎ＝4,247人）



放課後児童クラブの気になる点

放課後児童クラブを「利用している」と選択した児童で、「放課後児童クラブの気になる点」の内訳は、「特にない」が298人（約22%）で最も多く、次に「利用料金」が227人（約17%）、その次に「安全面（学校からの移動）」が223人（約17%）であった。（ｎ＝1,321人）



安全面（施設面）への施策

○子育て支援施設整備事業

施設の老朽化に伴い、児童の安全・安心な放課後の確保が難しくなっているため、児童クラブの環境改善のため、国の補助事業制度を活用した施設整備の助成を実施する。

	平成29年度	平成30年度
実施クラブ数	１か所	２か所（予定）

○大規模クラブの分割

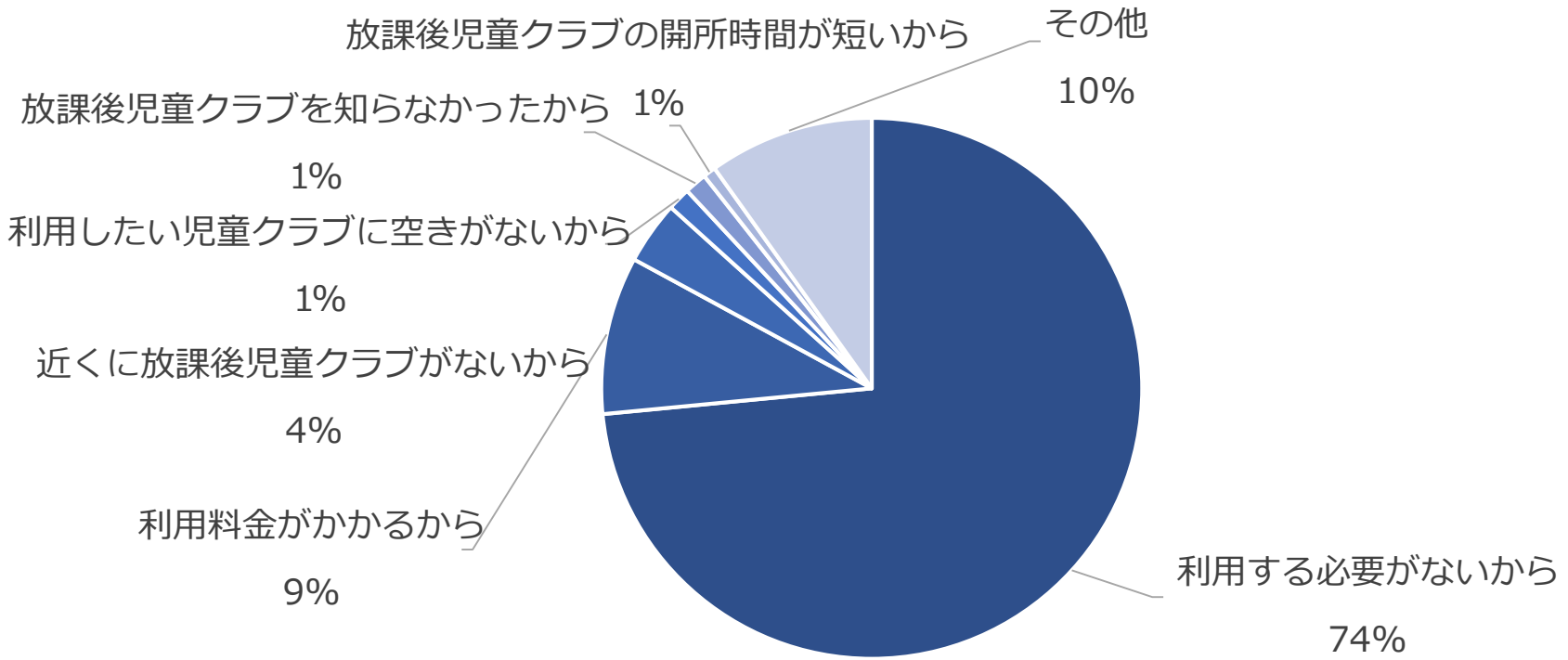
「鹿屋市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」第10条第４項において「一の支援の単位(放課後児童クラブ)を構成する児童の数は、おおむね40人以下とする」と定めており　鹿屋市では「おおむね40人」を48人と定めており、49人以上を大規模クラブと考えている。

児童の安全・安心な放課後の質を確保するため、年次的に大規模クラブの支援の単位を分割する。

	平成30年度
実施クラブ数	２か所

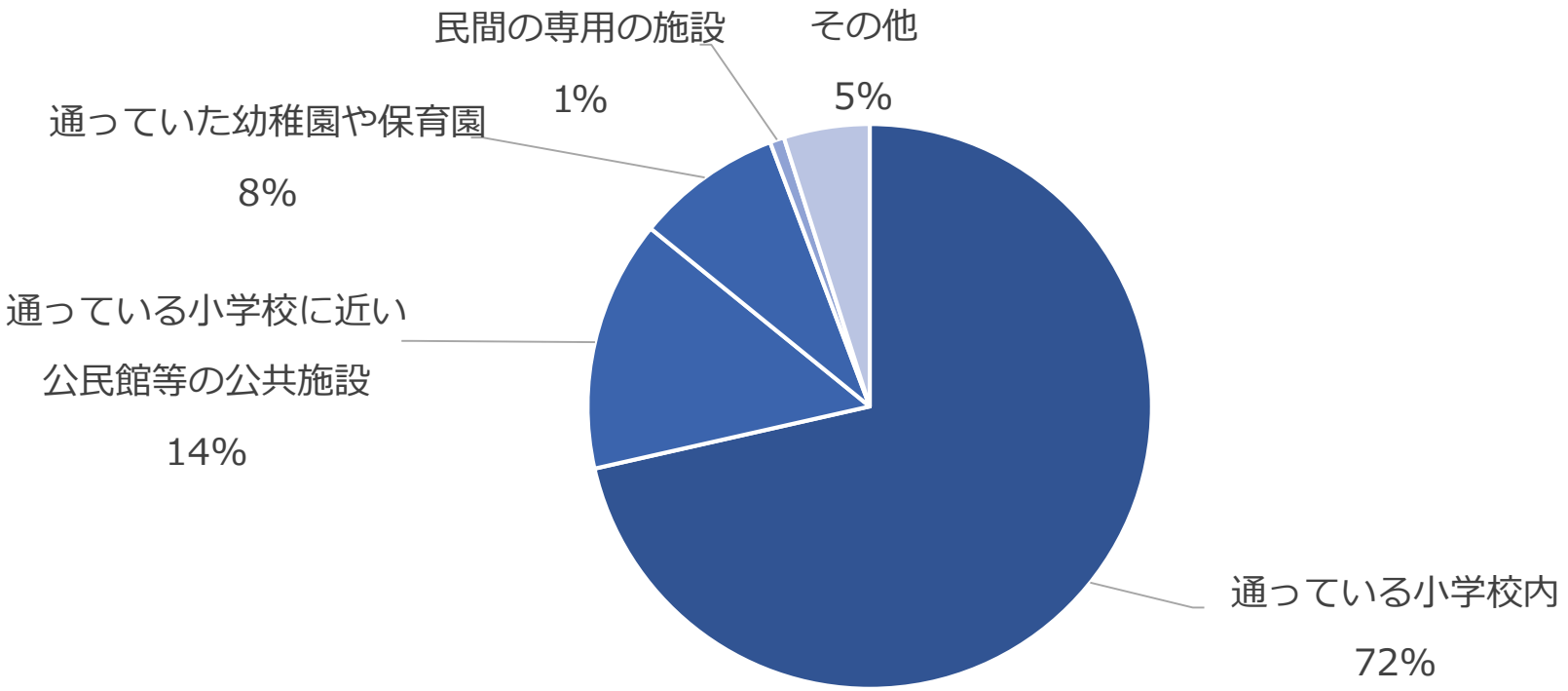
放課後児童クラブを利用していない理由

放課後児童クラブを「利用していない」と選択した児童で、「放課後児童クラブを利用していない理由」の内訳は、「利用する必要がないから」が2,150人（約75%）で最も多く、次に「利用料金がかかるから」が276人（約９%）、その次に「近くに、放課後児童クラブがないから」が110人（約４%）であった。（ｎ＝2,926人）



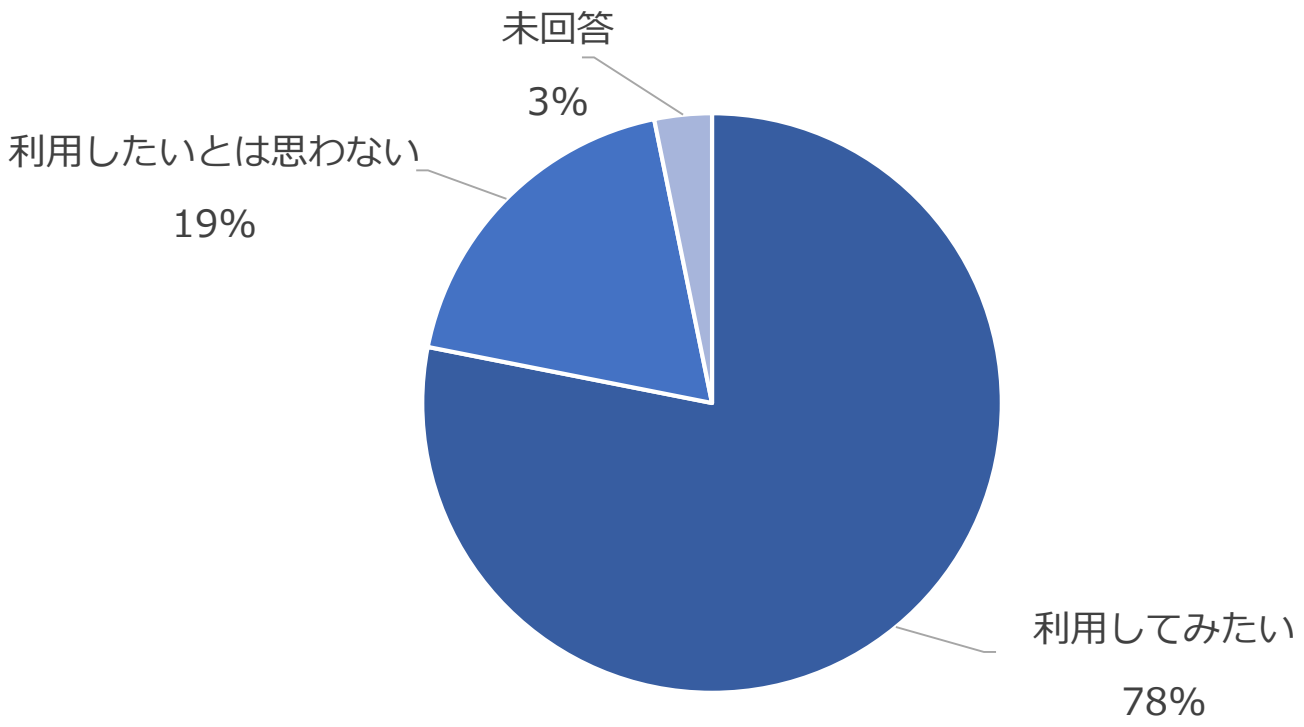
放課後児童クラブの開設場所として最も希望する場所

「放課後児童クラブの開設場所として最も希望する場所」の内訳は、「通っている小学校内（敷地内、空き教室など）」が2,091人（約72%）で最も多く、次に「通っている小学校に近い公民館等の公共施設」が421人（約14%）、その次に「通っていいた幼稚園や保育園」が246人（約８%）であった。（ｎ＝2,926人）



放課後子供教室の利用希望

「放課後子供教室の利用希望」の内訳は、「利用してみたい」を選択した児童が3,317人（約78%）で、「利用したいとは思わない」を選択した児童が794人（約19%）で、「未回答」が136人（約３%）あった。（ｎ＝4,247人）



放課後児童クラブのニーズ調査結果を踏まえ…

今後の問題点

○　未設置の小学校区（７か所）の解消

○　放課後子供教室の実施を含めた、小学校内の余裕教室等の活用

未設置小学校区の解消

平成30年５月１日時点、鹿屋市の放課後児童クラブの未設置の小学校区は７ヶ所ある。自主運営保育園等もない小学校区は南小学校区のみである。

No.	小学校区	自主運営保育園等	No.	小学校区	自主運営保育園等
1	東原小学校	東原保育園	5	高隈小学校	高隈保育園
2	西俣小学校	西南保育園	6	大黒小学校	大黒保育園
3	南小学校		7	下名小学校	瑞穂保育園
4	高須小学校	高須保育園			

未設置小学校区の解消

また、ニーズ調査結果によると、放課後児童クラブを利用しない理由として、約3.8%が「近くに、放課後児童クラブがないから」と回答しており、その内訳は東原小学校（27人）、西俣小学校（13人）が多く、現在、小学校区内に児童クラブがない小学校が上位を占めている。

No.	学校名	人数	割合	No.	学校名	人数	割合
1	東原小学校	27人	24.5%	12	笠野原小学校	3人	2.7%
2	西俣小学校	12人	10.9%	13	下名小学校	3人	2.7%
3	大姶良小学校	9人	8.2%	14	大黒小学校	2人	1.8%
4	串良小学校	6人	5.5%	15	鹿屋小学校	2人	1.8%
5	高須小学校	6人	5.5%	16	上小原小学校	2人	1.8%
6	南小学校	6人	5.5%	17	高隈小学校	2人	1.8%
7	寿北小学校	5人	4.5%	18	田崎小学校	2人	1.8%
8	寿小学校	5人	4.5%	19	西原台小学校	2人	1.8%
9	祓川小学校	4人	3.6%	20	野里小学校	2人	1.8%
10	吾平小学校	4人	3.6%	21	西原小学校	1人	0.9%
11	鶴峰小学校	4人	3.6%	22	細山田小学校	1人	0.9%
				合計		110人	100%

今後の方策

放課後児童クラブが未設置の小学校区について、**地域の実情**に合わせ、**放課後子供教室の実施等**や**小学校内の余裕教室等の活用**を含め、児童の放課後の居場所が確保できるよう、 教育委員会と協議していく。